



広報 矢島

4月

平成 14 年第 5 5 2 号

編成・発行/矢島町企画商工観光課 毎月1日発行
秋田県由利郡矢島町矢島町 20 TEL 0184-55-4952
印刷/高瀬館印刷所 FAX 0184-55-2157
Eメール yashima@town.yashima.akita.jp
ホームページ <http://www.town.yashima.akita.jp>



3月2日(土)、「鳥海高原矢島スキー場スノーフェスティバル2002」が矢島町青年団体連絡協議会の主催で行われました。
スノーボードの秋田No.1を決めるA-1カップには県内外から60名が参加され、日頃練習している演技を披露していました。

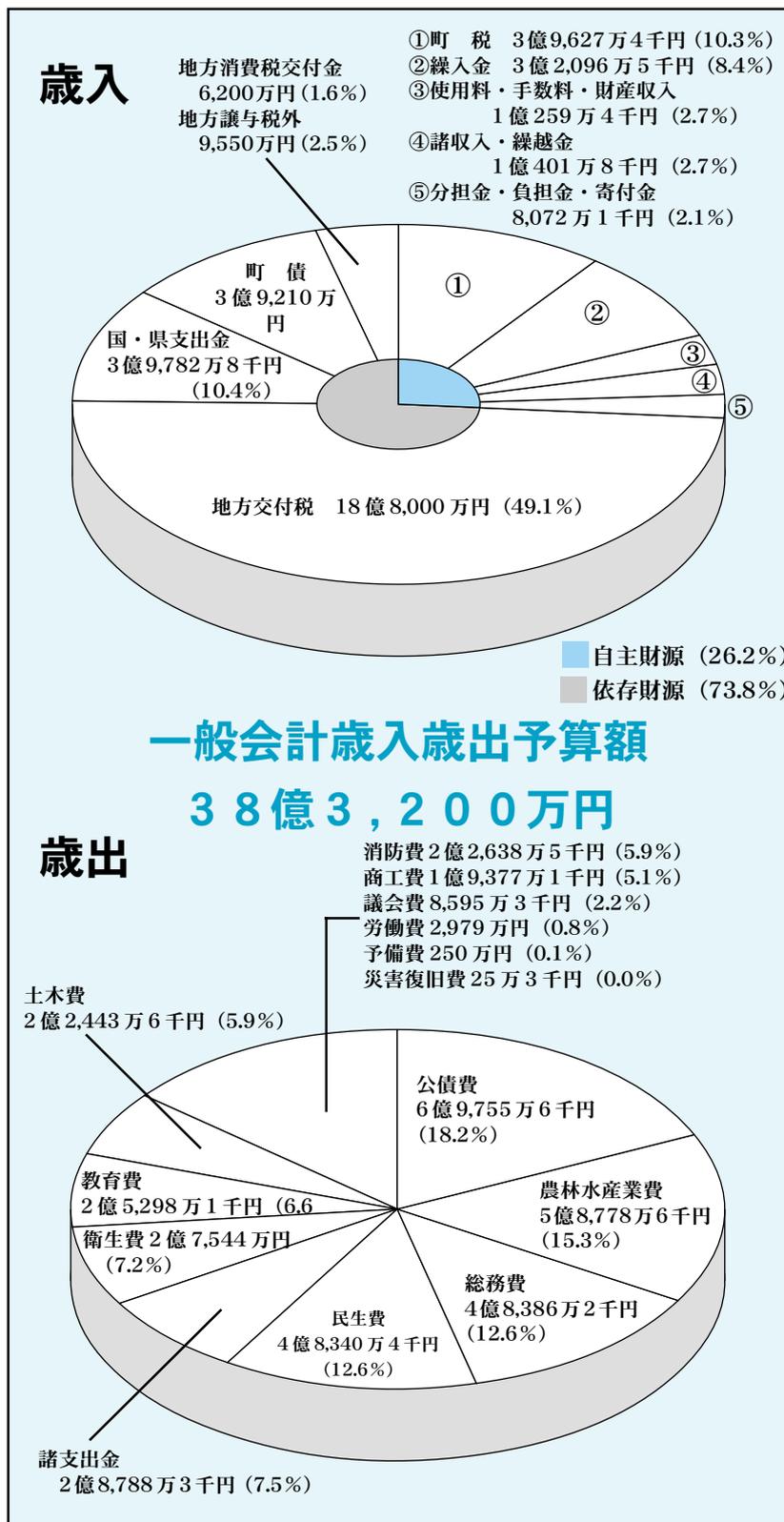
秋田 No.1 を決定

今月の主な内容

P 2~5	14年度予算(議会関係)	P 8	苗ポット・募集
P 10・11	まちの話題	P 12	人事異動
P 14・15	市町村合併	P 18・19	情報ひろば

総額は 59億 1,650万円

効率的に活用し町づくりに使います。



3月5日より開催された3月定例議会で平成14年度当初予算が可決され、一般会計総額三八億三二〇〇万円で前年度対比7%減となる3年連続のマイナス予算となりました。

歳入については、国や地方が財源不足のため地方交付税の減額や町税収入の不振があり厳しい状況ですが、元利償還金の全額が後年度交付税へ算入されるなど財源を活用しております。歳出については、これまで以上に経費の徹底的な見直しを行い継続事業を主体に行政効果、優先順位、後年度への財政負担等に配慮し、町民が健康で文化的な生活ができ、快適な生活環境の充実に図りながらの予算編成となりました。



平成 14 年度 予算

限られた財源を

特別会計予算額 (伸び率%)

畜産センター経営事業特別会計	48,000 千円 (6.08)
老人保健特別会計	809,300 千円 (△1.73)
国民健康保険特別会計	526,400 千円 (5.13)
スキー場経営事業特別会計	91,200 千円 (△5.00)
簡易水道事業特別会計	9,700 千円 (3.00)
集落排水事業特別会計	108,000 千円 (8.00)
公共下水道事業特別会計	251,800 千円(△39.89)
土地取得事業特別会計	5,603 千円 (351.49)
水道事業会計	
収益的収入	162,800 千円
収益的支出	162,800 千円
資本的収入	8,194 千円
資本的支出	71,697 千円

(予算総額には収益的支出・
資本的支出が含まれています)

性質別経費と構成比

人件費	779,783 千円	20.3%
物件費	588,181 千円	15.3%
維持修繕費	7,580 千円	0.2%
扶助費	197,116 千円	5.1%
補助費	607,338 千円	15.8%
公債費	697,556 千円	18.2%
積立金	35,500 千円	0.9%
投資及び出資金	90,080 千円	2.4%
繰出し金	363,644 千円	9.5%
投資的経費	465,222 千円	12.1%
合計	3,832,000 千円	100.0%

2 億 5 億 8 億

予算用語解説

地方交付税

所得税、法人税、消費税など個人や会社が納めた税金を、市町村などが行うべき事務を遂行できるよう、国が交付するお金

国・県支出金

町などが行う事業に対して、国・県が公益性を認め交付するお金

町税

町民税、固定資産税、軽自動車税など町が主体で課税しているお金

町債

特定の事業を行うために国や金融機関から借り入れるお金(借入金)

繰入金

財政運営を円滑に運営するために、積み立てたお金(基金)を取り崩したお金

公債費

町の借入金を返済するお金

住民ニーズに的確に応える

行政システムの確立を目指し

今年の町づくりはこのようになります

町政運営の

施政方針と

予算概要

国や地方が申告な財源不足に悩んでいる中で、本町の財政も例外ではなく、自主財源の根幹をなす地方交付税の減額や、町税収入の不振が大きくな要因となり、年々厳しい財政運営が続いております。特に地方交付税につきましては、「均衡ある国土の発展に資する」とする本来の創設主旨に沿わないと思える制度見直しが行われ、従来は小規模自治体に比較的有利に配分する仕組みであった「段階補正」に割増率が引き下げられる結果となりました。

歳出面においては公債費等の義務的経費が増加するとともに、特別会計への繰出し金、一部事務組合への負担が年々

増加傾向にあり、これらを含めた経常的経費が本町の財政基盤の圧迫につながっているものと認識しております。

しかし、このような状況下にあっても、新しい時代の要請や、町民皆様の期待に的確に応える行政システムの確立を目指し、第2次行政改革プロジェクトチーム及び本部会議を立ち上げております。結果的に受益負担を求める部分もありませんが、人件費、旅費

等経常経費の削減など他町に先駆けた改革も提案しております。今後継続して、事務事業の見直し、組織機構の再編などあらゆる面での行政改革に努めてまいります。

また、地方分権の具体化は最終段階を迎え、市町村合併が大きな話題となっております。本町にとりましても、少子高齢化社会と財政の硬直化が加速する中で、合併問題は避けて通れない課題であると

認識しております。合併による財政基盤の強化によって、事務事業の効率化や広域的行政問題の解決など、総合的な効果は期待できるものと考えております。

しかし、これまで永く育まれてきた歴史や文化への愛着や、地域の連帯感、合併後の市町村の中心部と周辺部で地域格差が生じないか、行政サービスの質が低下する恐れはないのかなど、財政的効率面だけに目を奪われることなく、慎重に精査してまいります。今後はできるだけの情報開示するとともに、集落ごとに集会を開催しながら町民皆様と議論を重ね、議会と歩調を合わせながら、本町の将来展望にたった意思決定を図ってまいります。

住民の福祉と

健康管理

町の課題である少子高齢化対策として、母子保険事業の乳幼児健診、町単独事業の妊婦健診事業、予防接種事業、就学前児童の医療費の無料化、乳幼児健康支援事業や保育園、子供館、学童保育事業など推進します。

高齢者対策としては「安心して年を重ねられる生涯健康社会の実現」を目指して、保健・医療・福祉の連携のもとに各種施策を推進します。介護保険事業も3年目に入り、低所得者に対する利用者負担の軽減措置の継続、利用者の介護ニーズに合ったより良いサービスの提供に努め、また在宅生活支援の充実を図ります。



今年も町民の健康支援対策の充実を図ります

町民の健康支援対策としては、総合健診事業、老人保険事業の充実を図るため国保の保険事業と連携しながら進めてまいります。

バリアフリーの町づくりとしての公共施設の改善策としての役場庁舎正面玄関にスロープを設置し、高齢者の方々にも利用しやすい施設となるよう改善します。

主な事業と予算

老人福祉事業	34,551	千円
福祉医療事業	42,785	千円
介護支援センター事業	5,563	千円
介護保険事業	58,380	千円
保育運営事業	123,494	千円
学童保育事業	2,195	千円

生活環境の整備

公共下水道事業は当初計画より大幅に早まり、平成13年度で面整備が完成し、4月より全部共用開始となります。

普及率も56.5%となり、集落排水、合併浄化槽の普及率を加えますと94.7%となり、全県で3番目の普及率となります。今後は水洗化の推進を図っていきます。

今年度と来年度の2ヶ年事業で浄化センター水処理施設の増設工事、合併浄化槽設置事業に重点を置き実施します。上水道では新荘・坂之下線一部を敷設替え、館町・田中町線の敷設替えを計画しています。

道路整備については、継続事業の新荘・坂之下線の道路改良工事を行います。消防施設整備としまして、防火水槽4基の設置を計画しています。



改良が行われる新荘・坂之下線

主な事業と予算

合併浄化槽事業	3,843千円
塵芥収集事業	33,941千円
道路新設改良事業	86,220千円
防火水槽設置事業	22,000千円
公共下水道事業	141,472千円

産業の振興

農林商工観光の振興については、本町の基幹産業である農業の本年における生産調整面積は、昨年並みの287ヘクタールですが、ほ場整備の事業面積が減少することから実質的には大幅な生産調整面積の増となりまます。畑作については、市場価格の低迷で非常に厳しい状況にあります。農業夢プラン応援事業により本町戦略作物等の有利性の確立を図ります。平成5年度より造成しております桃野畑地兼営事業は今年度で完了となります。

水田ほ場整備は、矢島・木在地区の面工事の継続。基盤整備は、荒沢地区の作業路開設事業の継続、二又地区の作業路開設に着手します。商工業については、地域商業の活性化を図るため、引き続き活性化支援特別融資資金及び中小企業融資資金による支援、共通商品券の発行の支援をいたします。

観光振興については、「自然と共生する町づくり」のエコミュージアム構想の核と位置づけている田園空間整備事業が着工となり、花立堤周辺のチップロードの整備をします。

主な事業と予算

田園空間整備事業	84,850千円
水田ほ場整備事業	28,202千円
ミルクプラント運営事業	25,854千円
基盤整備促進事業	26,273千円
中山間地域	
直接支払制度事業	33,830千円
アグリファーム	
運営事業	2,321千円
町造林事業	44,090千円
育苗ポット開発調査	2,500千円
商店活性化事業	1,150千円
スポーツ宿泊センター	
管理運営事業	52,500千円



木在地区のほ場整備

ミルクプラントにおいては、アイスクリーム、ヨーグルトなどジャージー牛の特性を生かした乳製品の開発や学校給食に導入している牛乳についても継続していきます。

教育文化の振興

学校教育関係では、完全学校週5日制の実施にあたって、教育環境の整備と学校・家庭・地域社会の連携を支援します。また、中学生の海外派遣研修は派遣先を検討して再開します。

社会教育関係については、茶道「遠州流」の宗家・小堀宗慶氏による講演会・茶会の開催。小学生の高松市スポーツ少年団交流事業の実施。また、人材育成のための国内外研修も継続していきます。スポーツ振興については、新規にスポーツ大会出場にかかる補助金制度を設けて積極的に支援してまいります。

主な事業と予算

中学生海外研修事業	2,880千円
夢スペース!スクール	
サポートモデル事業	1,160千円
国内外研修事業	300千円
教育基金積立事業	10,000千円

町議会 3月定例会



平成14年度の町づくりの方針を決める3月定例会が3月5日（火）から14日（木）まで開催されました。

初日の5日は佐藤町長より行政報告、平成14年度当初説明の中では、今盛んに議論されております合併問題にもふれ「自治体が自己決定自己責任の原則に基づき、町民皆様と議論を重ね町の将来展望に立った意思決定を図ってまいります。」と説明されました。翌6日、7日は一般質問、8日から13日まで各委員会審査が行われ最終日に条例案並びに平成14年度予算案の審議に入りました。

会期中に条例改正、補正予算案、新年度予算案、議員発議による意見書案を含む47の議案すべてを原案どおり可決し、閉会しました。

可決された主な議案

・矢島町固定資産評価審査委員選任につき同意を求める件について

小野 正夫氏（館町）を選任し同意（再任）

・矢島町福祉会館使用料等の一部を改正

福祉会館・日新館・歴史交流館の使用料について、酒宴を伴う場合は減免規定を適用しないことになりました。

（4月1日より公的、私的を問わず酒宴として使用する団体、企業、個人は、各施設使用料金の5割増しの料金を支払うこととなります。）

料金の確認は各施設にてお願いします。

・矢島町清掃施設設置条例の一部を改正

矢島町清掃施設の使用料が改正になりました。

使用料金(1台につき)	
0.5 t 車未満	500円
0.5 t 車以上1 t 車未	1,000円
1 t 車以上2 t 車未満	2,000円
2 t 車以上4 t 車未	3,000円
4 t 車以上	4,000円
4月1日より改定 使用料はすべて搬入時に現金納付になります	

・矢島町長寿祝金条例の一部を改正

100歳到達時に支給されていた祝金100万円を20万円に改正されました。

経過措置			
17年度以降	16年度	15年度	14年度
20万円	30万円	50万円	70万円

・矢島町国民健康保険条例の一部を改正

葬祭費を10万円を5万円に改正になりました。

・矢島町老人福祉センター設置条例の一部を改正及び使用料徴収条例の一部を改正
施設の管理及び運営を社会福祉協議会に委託します。

矢島町老人福祉センター使用料

	旧料金	新料金
町内在住者	150円	200円
町外者	305円	350円
小部屋使用者	1,015円	2,000円

★平成13年度補正予算

一般会計

事業精査により107,568千円を追加し、総額4,557,000千円となりました。

特別会計

○スキー場経営特別会計
376千円を減額し
総額 109,329千円となりました。

○集落排水事業特別会計
3,784千円を減額し
総額 97,229千円となりました。

○公共下水道特別会計
1,968千円を追加し
総額 343,965千円となりました。

★平成14年度当初予算

一般会計及び特別会計
(詳細はP2～5で掲載)

花立牧場工房ミルジの 振興策提言になる

昨年の11月に設立になりました花立牧場工房ミルジー総合検討委員会（委員長：秋田県立大学助教授西崎雅仁氏）が、去る3月14日に矢島町長にミルジーの振興策を検討した報告書を提出しておりますので、町民の皆様にお知らせします。



専門家の見地から具体的な解決の仕方が提言になっております。又、アンケートを実施した結果、ジャージー牛乳の味については、7点満点の6・4点、値段は3・1点、パッケージは5・1点となり、値段は低い点数でしたがその他は評価が大変高く出ております。

★この結果を踏まえて、ミルジーの取るべき戦略

- 新規顧客の獲得
- 既存商品の改良
- 新商品開発
- 営業・宣伝活動
- 経営改善のための方策

★報告書の内容

- ① 経営戦略
 - ② 人的資源管理
 - ③ マーケティング
 - ④ 財務管理
- 経営的な問題点
及び解決方法

最後に「製品ができる段階から消費されるまでの過程において生産者・製造者・販売者の顔が見えるような情報開示、責任が明確化された環境下で作られた乳製品でなければ消費者に受け入れられない」と結んでおります。今後のミルジーの繁栄を期待するとともに、委員の方々の熱心な議論、提言に心から感謝いたします。

「ミルジー」に 歌のプレゼント！



「未来の矢島のために」をテーマに1年がかりで製作された「花立牧場工房ミルジー」のイメージソングがCDにされ、3月27日（水）佐藤町長に贈られました。

これは「矢島中学校総合的な学習」の一環として行われたもので、製作したのは今年3月に卒業された東海林大君（館町）、佐藤博紀君（大川原）、佐藤桃子さん（築館）の3人です。

佐藤町長より「素晴らしい歌を作っていただき感動しました。今後ミルジーや町のPRに役立てていきたい。」とお礼のあいさつがありました。

贈呈後、CDに収録されている「ミルジーのうた」「ぼくらのふるさと」を演奏を披露していただき、ふるさとへの思いを聞くことができました。

営業開始のお知らせ

花立施設の営業がそれぞれオープンしますので皆様のご愛顧のほど、よろしくお願ひします。

4月6日（土）

「花立牧場工房ミルジー」

4月10日（水）

「花立クリーンハイツ」

なお、冬期間スキー場で利用いただきました「ビックベア」「白銀」は3月31日をもって終業させていただきます。

住民票等証明書の 電子公印化について

既に発行されております戸籍謄抄本に続いて、左記証明書につきましても4月から電子公印化されます。

尚、住民票記載事項証明や恩給現況届等持参された書式につきましては、今までどおり公印の押印となります。

- ① 電子公印化される諸証明
- ② 住民票
- ③ 印鑑証明書
- ④ 転出証明書

火災が発生しやすい季節に 春の火災予防運動

4月7日（日）から13日（土）までの一週間、春の火災予防運動が実施されます。毎年、この時期は晴天が続く、空気が乾燥する上強い風が吹くため火災が大変発生しやすくなります。火の取扱いは十分注意してください。

消防団では、7日（日）午前8時ころから、防火パレードを実施。また期間中は、各家庭へ防火チラシの配布、消防車による巡回など防火活動を積極的に実施いたします。

環境循環型社会を目指し

100%土に還る育苗ポットを開発!!

矢島町は、この度、株式会社ジーザックトレーディング（本社：東京都渋谷区代々木）と共同で「スターやしまバイオセンター」で生産された完全堆肥を混入した育苗ポットを開発しました。

この育苗ポットは、原料が竹10パーセント、葦60パーセント、堆肥30パーセントの混合比率で構成され、一切化学物質は混入しておらず、土中に入れると約25日で完全に生分解し、土に還るとい画期的なもの。



試作された育苗ポット

従来の育苗ポットは、塩化ビニールが主原料であるため、育苗した苗をポットから抜き取って圃場に定植するのが慣行であるが、開発したポットは、抜き取らずそのまま圃場に定植できる点に特徴がある。

また、従来の塩化ビニール製の育苗ポットは、定植後、産業廃棄物として処分しなくてはならないのが現状です。現在、町や農協などで処分している苗ポットなど農業関連の産廃は年間6トン前後。

開発したポットは、前にも述べたように土中に完全に分解してしまうため、自然環境に優しく処分する手間も要らないというメリットもある。

現在、秋田県農業試験場にこの育苗ポットの育苗時の強度・耐久性や定植後の苗ポットの分解速度について試験を委託し、正確なデータの収集に努めており、生産事業化に向けた計画の立案段階である。

この育苗ポット生産事業の計画にあたっては、「鳥海山の



使用されるバイオセンターの完熟堆肥

自然の恵みを生かした自然にやさしい商品」の生産により環境循環型社会の実現のみならず、バイオセンターで生産された堆肥の有効利用、雇用促進、経済活性化を目的とし、自然との共存が基本理念である「エコミュージアム構想」に沿った事業となるよう進めていく予定です。

矢島町老人福祉センター用務員募集

- ◆勤務内容 矢島町老人福祉センターの施設内外の管理
- ◆募集人員 1名
- ◆募集資格
 - ・矢島町在住で概ね50歳まで
 - ・自動車大型免許取得者
- ◆勤務時間 矢島町老人福祉センター服務規程による
- ◆賃金 社会福祉協議会賃金規定による
- ◆加入保険 社会保険・厚生年金・雇用保険
- ◆申込み方法 履歴書に自筆記入
- ◆申込み期間 平成14年4月12日(金)まで
- ◆提出先 矢島町社会福祉協議会
- ◆採用方法 書類審査選考及び面接試験
- ◆お問い合わせ先 矢島町社会福祉協議会

TEL 56 - 2910

ワークセンター臨時職員募集

- ◆勤務内容 屋外町有施設管理
- ◆募集人員 2名
- ◆募集資格
 - ・矢島町在住で概ね50歳までの離職者
 - ・自動車普通免許取得者
 - ・刈払機使用可能者
- ◆勤務時間・賃金 ワークセンター要綱による
- ◆雇用期間 5月1日から6ヶ月(更新なし)
- ◆加入保険 社会保険・厚生年金・雇用保険
- ◆申込み方法 所定の申込み書・履歴書に自筆記入
- ◆申込み期間 平成14年4月12日(金)まで
- ◆提出先 矢島町ワークセンター(役場内)
- ◆採用方法 書類審査選考及び面接試験
- ◆お問い合わせ先 矢島町ワークセンター

(役場内) TEL 55 - 4953

★林業作業員臨時職員募集の記事を広報5月号に掲載します。

平成13年度 矢島町スポーツ賞

1団体11名受賞

3月13日(水)、平成13年度矢島町スポーツ賞表彰式が日新館にて行われました。

昨年度の受賞はスポーツを通じて矢島町の発展に努め、優秀な成績に輝いた方々に栄光賞3名、奨励賞個人7名、団体1団体が受賞され、また、長年にわたって選手育成に努められた三浦栄一さん(新町)が指導者賞が贈られました。

今回の受賞をステツプとして、今後益々のご活躍をご期待申し上げます。

受賞者は次のとおりです。(敬称略)

★指導者賞

・三浦 栄一(新町)

卓球

昭和50年から中学校卓球部を指導、平成6年からはスポーツ少年団にも指導にあたり、選手育成強化に尽力いただきました。

★栄光賞(個人)

・三浦 裕之(山寺)

野球

第56回国民体育大会

軟式野球競技一般B第6位

・佐藤 智弥(大川原)

スキー

第57回国民体育大会出場

・伊東 遼(豊町)

ボート

第56回国民体育大会 第4位

★奨励賞(個人)

・小番 規子(八ツ杉)

テニス

第23回朝日杯レディーステニス全国決勝大会出場

・熊谷 悠樹(川原)

陸上

第28回東北総合体育大会出場

・豊島 拓(郷内)

スキー

第39回全国中学校スキー大会

・松田 進(川原)

卓球

平成13年度全日本卓球選手権大会カデットの部出場

・太田 拓也(豊町)

空手

第30回(社)日本空手協会東北地区空手道選手権大会出場

・三浦 公貴(新町)

卓球

平成13年度全日本卓球選手権大会ホープスの部出場

・金子 俊恵(針ヶ岡)

卓球

平成13年度全日本卓球選手権大会ホープスの部出場

★奨励賞(団体)

・矢島中学校男子卓球部

平成13年度 東北中学校総体 出場

平成13年度秋田県中学校 秋季大会 準優勝

活躍の記録

全町スキー大会結果報告

(敬称略)

◎小学校1・2年女子

1位 佐藤かおり(八ツ杉)

2位 土田 瑠美(新所)

3位 村上 風子(新丁)

◎小学校1・2年男子

1位 佐藤 康大(中山)

2位 佐藤 将斗(荒沢)

3位 佐藤 優弥(谷地沢)

◎小学校3・4年女子

1位 佐藤 夏実(中山)

2位 佐藤 さゆり(八ツ杉)

3位 真坂 麗(沖小田)

◎小学校3・4年男子

1位 高橋 知樹(水上)

2位 佐々木 佑(田中)

3位 佐藤 康太(九日町)

◎小学校5・6年女子

1位 大井 都(栄町)

2位 佐藤 優子(郷内)

3位 三浦 綾華(栄町)

◎小学校5・6年男子

1位 佐々木 伸(田中)

2位 田口 貴久(羽坂)

3位 三浦 佑仁(荒沢)

◎中学校男子

1位 豊島 拓(郷内)

2位 高橋 賢樹(水上)

3位 土田 源太(山寺)

◎高校女子

1位 土田 美樹(新所)

◎高校男子

1位 土田 茂晴(新所)

◎成年女子A

1位 相庭 恵(金ヶ沢)

◎成年女子B

1位 佐藤 留美子(中山)

2位 佐々木 孝子(田中)

3位 佐々木美穂子(小田)

◎成年男子A

1位 富田 丘(豊町)

2位 村上 直哉(下山寺)

◎成年男子B

1位 佐藤 有介(小田)

2位 柳 清康(矢島精工)

3位 相庭 義則(金ヶ沢)

◎成年男子C

1位 佐藤 弘(御嶽)

2位 佐藤 義之(新所)

3位 豊島 賢語(郷内)

◎成年男子D

1位 黒木 悟(郷内)

2位 佐藤 嘉一郎(荒沢)

3位 佐藤 喜八(小田)

◎壮年A

1位 東海林 晃(下山寺)

2位 佐藤 一夫(下山寺)

3位 相庭 裕亮(新所)

◎壮年B

1位 渡辺 幸司(館町)

2位 伊東 清雄(下山寺)

3位 佐々木 久(七日町)



スポーツ賞に受賞された皆さん

まちの話題

3月15日(金) 矢島小学校卒業式
平成13年度の卒業生は2クラス76名。

中学校の新しい制服姿の卒業生たちは、保護者、在校生の見守る中、6年間の思い出を胸に卒業式を迎えました。

校長式辞では、大リーグで活躍しているイチロー選手の卒業文集が紹介され、「陰の努力があればこそ不可能だと思われることも可能になる」ということを忘れず急がず、休まず一歩ずつ自分の夢に向かって汗を流せる人になってほしい。との言葉が贈られました。



3月2日(土) 矢島高校卒業式
平成13年度の卒業生は102名。

校長式辞では、社会へ旅立つ生徒に

- ・常に学ぶ心をもってほしい
 - ・社会的マナーを身につけてほしい
 - ・何事にも本気で取り組んでほしい
- と3つのお願いがあり、“可能性は無限、夢を持って前進して下さい”

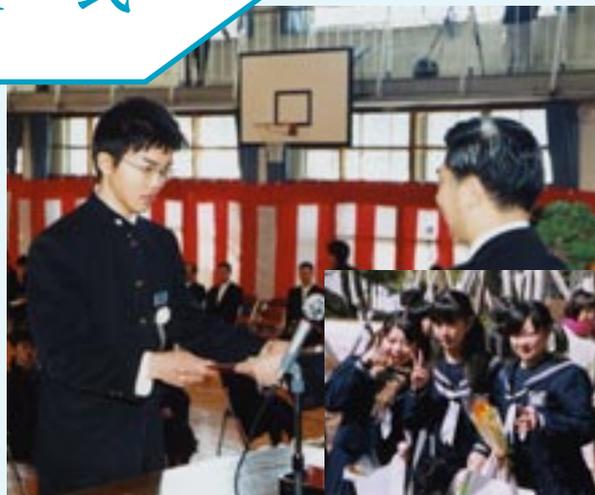
とエールが贈られました。

それぞれの思い出を胸に・・・

卒業式

3月23日(土)
矢島保育園卒園式 48名。

お世話になった園長先生からは、「立派にあいさつができることは大切なことです。小学校へ行っても、このことを忘れないでみんな仲良くがんばって下さい」とあたたかい言葉がありました。



3月16日(土) 矢島中学校卒業式
第55期生卒業生 3クラス84名。

小・中学校の義務教育で一緒に過ごしたクラスメイトとも、これからは別々の道を歩き出す卒業生たち。

「自分の目標に向かい失敗を恐れず真正面から立ち向かい、豊かに幸せ多い人生を送って下さい。」…校長式辞